2026 年 10 月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済には弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2026 年 10 月 27 日公表）において、「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある」との表現に変更された。
以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に 9 月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

① 需要動向に関して、「個人消費」「輸入」「設備投資」「公共投資」「住宅建設」に関する判断がそれぞれ維持された。「輸出」に関しては、「持ち直しの動きがみられる」から「持ち直しの動きに足踏みがみられる」へ下方修正された。

② 企業活動に関して、「生産」「企業収益」「倒産件数」に関する判断がそれぞれ維持された。「業況判断」に関しては、これまでの「おおむね横ばい」を「全体としては改善の動き」に上方修正された。

③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ 物価に関して、「消費者物価」については「緩やかに上昇している」から「このところ上昇している」に表現が変更された。「国内企業物価」については「上昇テンポが鈍化している」から「このところ横ばいとなっている」に表現が変更された。

⑤ 世界経済に関しては、「世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。ただし、中東情勢を始め世界経済の不透明感が続いている」との表現が維持された。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（9 月）は、前年同月比 2.1%増となった。近鉄百貨店和歌山店の販売額（9 月）は、前年同月比 4.6%増となっており、4 か月連続で前年を上回った。物価上昇の影響により販売額は伸びが見られる一方、消費者の節約志向の高まりから、百貨店に比べてスーパーにおける販売額には弱さがみられる。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、9 月）は、前年同月比 0.3%増となり、6 か月連続で前年を上回った。ただし、前年同月比の伸び率は鈍化している。内訳を見ると、登録車は前年を上回っているものの、軽乗用車は前年を下回っている。軽乗用車の販売動向には引き続き弱さがみられる。

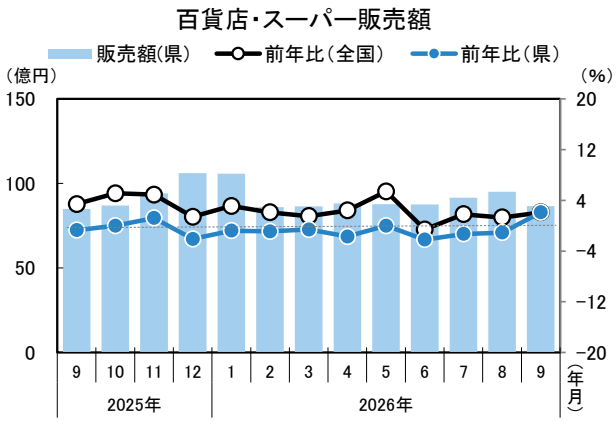
新設住宅着工戸数（9 月）は、前年同月比 5.0%減となり、3 か月連続で前年を下回った。持家・分譲住宅の着工戸数が前年に比べて減少しており、貸家については増加した。建築費や住宅価格の上昇に加え、住宅ローン金利も上昇傾向にあるなど、住宅市場を取り巻く環境には厳しさが見られる。

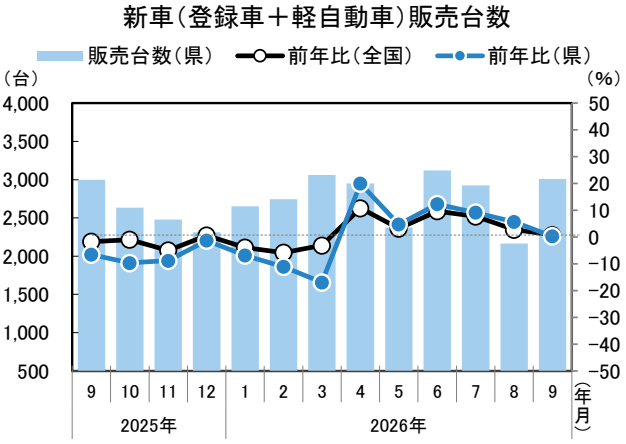
② 企業活動面では、鉱工業生産指数（8 月）は、94.1 となっており、前月比 5.0 ポイント下降した。業種別では、化学工業、はん用機械工業等の主要業種を含む多くの業種において生産指数が下降した。一方、主要業種である鉄鋼業では、生産指数が対前月比 5.8 ポイント上昇した。

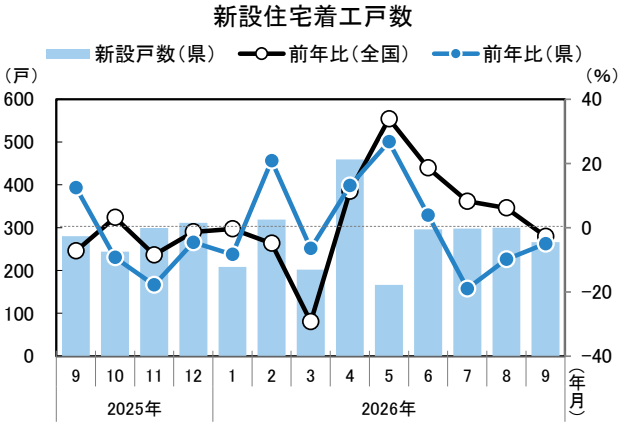
公共工事請負金額（9 月）は、前年同月比 20.2%減となった。公共工事請負金額は月ごとの変動が大きく、8 月は前年同月比 83.6%の大幅増となっていたが、9 月は前年を下回った。この結果、4～9 月累計の請負金額についても前年同期比 3.1%減となった。

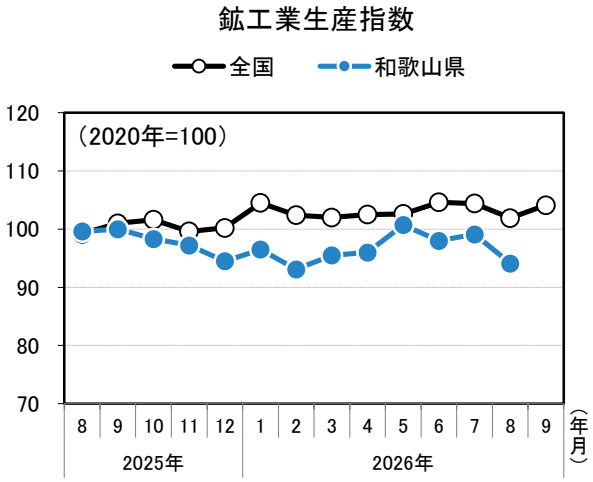
帝国データバンクが発表している県内 TDB 景気 DI（9 月）は、42.4 と、前月から 1.8 ポイント上昇し、約 1 年ぶりの水準まで回復した。業種別では、サービス業、卸売業、運輸・倉庫の景気 DI が前月比で下降する一方で、小売業、製造業、建設業で景況 DI が上昇した。このような状況に対して、帝国データバンクは、「良い話」や「明るい話題」に乏しい感が否めず、「当面は現状維持の状況が続く」としている。

③ 雇用面については、有効求人倍率（9 月）は、前月から 0.03 ポイント上昇し、0.98 倍となった（上昇は 2 か月連続）。有効求人数が 3 か月連続で増加した。ただし、新規求人数はコロナ禍で初めて緊急事態宣言が出された 2020 年 4 月以降で初めて 5,000 人を割り込んでおり、求人市場には引き続き弱さが見られる。産業別の新規求人数では、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業などで前年同月を下回っている。このような状況を受けて、和歌山労働局は県内の雇用情勢について、「持ち直しの動きに弱さがみられ、一部には厳しさが見られる」と判断している。

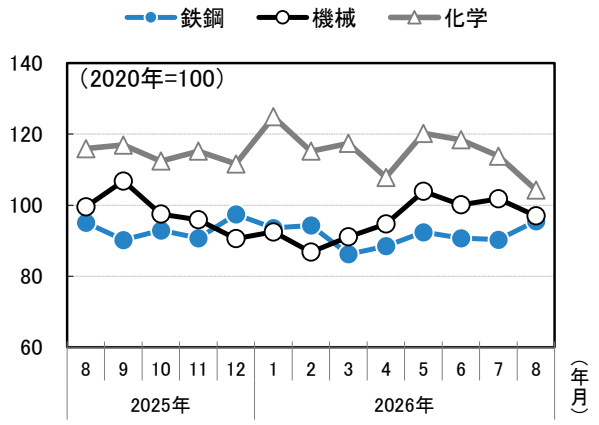




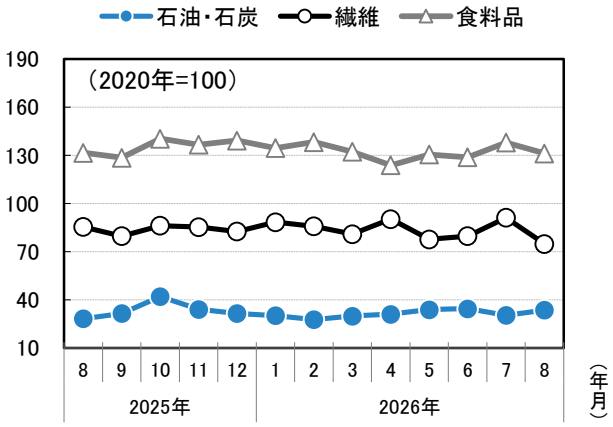




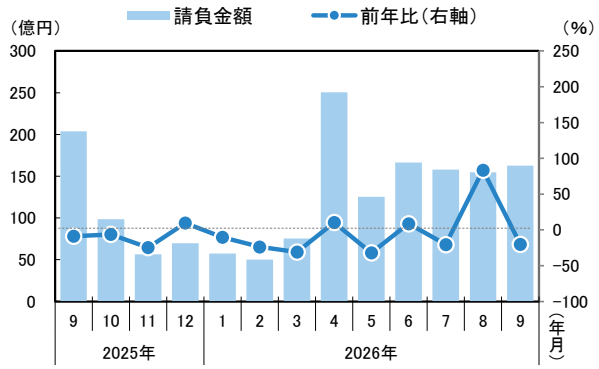
鉱工業生産指数(和歌山県)



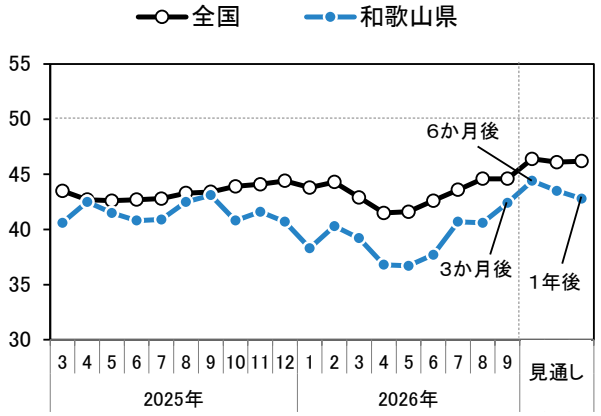
鉱工業生産指数(和歌山県)



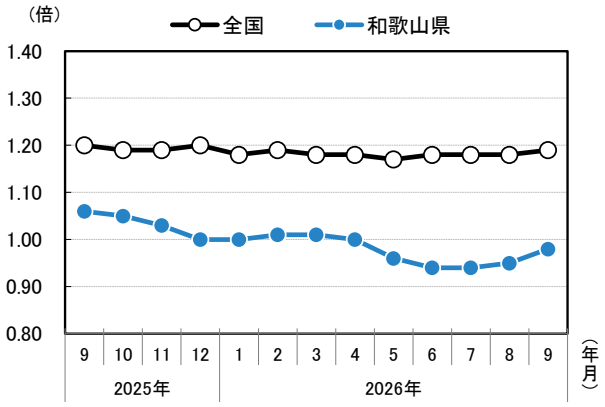
公共工事請負金額(和歌山県)



TDB景気DI(判断の分れ目は50)



有効求人倍率



（1）個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数（＊登録＋軽）			新設住宅着工戸数		
	販売額（億円）	全国（前年比）	和歌山県（前年比）	販売台数（台）	全国（前年比）	和歌山県（前年比）	着工戸数（戸）	全国（前年比）	和歌山県（前年比）
2021年	1,093	0.9	−3.7	32,416	−3.3	−4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	−0.3	30,549	−7.0	−5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	−4.6	−16.8
2024年	1,107	3.6	0.1	19,231	−5.6	−6.6	3,800	−3.3	−4.0
2025年	1,108	2.8	0.1	19,204	1.2	−0.1	3,364	−6.5	−11.5
2025年8月	96.1	3.3	−2.2	2,049	−7.9	−14.3	333	−9.8	−17.6
9月	84.9	3.4	−0.7	2,999	−1.7	−6.6	280	−7.3	12.4
10月	86.9	5.1	0.0	2,634	−1.0	−9.6	244	3.2	−9.3
11月	94.0	4.9	1.2	2,478	−5.0	−8.8	299	−8.5	−17.9
12月	106.1	1.4	−2.1	2,312	0.6	−1.3	311	−1.3	−4.6
2026年1月	105.8	3.1	−0.8	2,651	−3.9	−6.9	208	−0.4	−8.4
2月	86.0	2.1	−0.9	2,745	−5.8	−11.1	319	−4.9	20.8
3月	86.5	1.5	−0.6	3,062	−3.1	−17.0	202	−29.3	−6.5
4月	88.2	2.4	−1.7	2,949	10.8	20.0	459	11.4	13.1
5月	87.7	5.4	0.0	2,376	3.2	4.7	166	33.9	26.7
6月	87.5	−0.6	−2.2	3,121	9.7	12.3	296	18.6	3.9
7月	91.5	1.8	−1.3	2,924	7.7	9.1	298	8.2	−19.0
8月	95.1	1.3	−1.1	2,165	2.8	5.7	300	6.1	−9.9
9月	86.6	2.1	2.1	3,008	0.8	0.3	266	−2.7	−5.0

（2026年11月5日に取得可能な資料より作成）

（2）企業活動面

	鉱工業生産指数（2020年=100）								公共工事請負額		TDB景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額（億円）	和歌山県（前年比）	
2021年	105.4	97.6	93.8	97.0	97.0	87.7	96.3	118.0	1,806.3	−2.2	
2022年	105.3	103.8	100.2	106.6	101.8	122.2	100.0	120.3	1,584.1	−12.3	
2023年	103.9	97.9	93.0	97.9	104.7	102.7	99.8	117.1	1,711.6	8.0	
2024年	101.2	96.5	86.0	95.1	112.2	44.3	92.7	127.0	1,625.7	−5.0	
2025年	102.0	98.4	90.8	97.9	117.1	33.8	89.0	127.5	1,514.2	−6.9	
2025年8月	99.2	99.6	95.1	99.5	115.9	28.3	85.4	131.6	84.4	−39.5	42.5
9月	101.0	100.0	90.2	106.8	116.9	31.5	79.7	128.5	203.7	−8.7	43.1
10月	101.6	98.3	92.9	97.5	112.4	42.0	86.2	140.4	98.4	−6.2	40.8
11月	99.6	97.2	90.7	95.9	115.2	34.1	85.3	136.6	56.3	−24.6	41.6
12月	100.2	94.5	97.4	90.6	111.6	31.5	82.5	139.2	69.9	9.6	40.7
2026年1月	104.5	96.5	93.6	92.5	124.9	30.2	88.4	134.5	57.3	−10.3	38.3
2月	102.4	93.1	94.3	86.8	115.2	27.7	85.8	138.3	50.1	−23.8	40.3
3月	102.0	95.5	86.2	91.1	117.4	29.9	80.9	132.2	75.5	−30.9	39.2
4月	102.5	96.0	88.5	94.7	107.8	31.0	90.3	123.8	250.5	10.4	36.8
5月	102.6	100.7	92.4	103.9	120.2	33.9	77.7	130.5	125.3	−32.0	36.7
6月	104.6	98.0	90.7	100.1	118.4	34.5	79.7	128.8	166.5	8.8	37.7
7月	104.4	99.1	90.3	101.8	113.8	30.4	91.1	138.0	157.9	−20.4	40.7
8月	101.9	94.1	95.5	97.0	104.3	33.6	74.8	131.2	154.9	83.6	40.6
9月	104.1								162.6	−20.2	42.4

（注）鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]　　（2026年11月5日に取得可能な資料より作成）

（3）雇用面

	有効求人倍率		有効求人数（人）	有効求職者数（人）	充足率	
	全国（倍）	和歌山県（倍）			パートタイム除く（%）	パートタイム（%）
2021年	1.13	1.09	16,195	14,874	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,976	14,775	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,339	14,407	14.7	17.2
2024年	1.25	1.13	16,427	14,570	13.9	17.3
2025年	1.22	1.09	15,946	14,626	13.2	18.6
2025年8月	1.21	1.07	15,802	14,747	12.9	16.4
9月	1.20	1.06	15,683	14,747	12.8	18.0
10月	1.19	1.05	15,461	14,761	14.0	18.7
11月	1.19	1.03	15,357	14,960	10.8	18.3
12月	1.20	1.00	15,201	15,195	12.3	17.3
2026年1月	1.18	1.00	15,509	15,557	11.2	13.9
2月	1.19	1.01	15,372	15,215	12.5	20.2
3月	1.18	1.01	15,113	14,968	17.4	28.2
4月	1.18	1.00	14,912	14,871	14.2	23.2
5月	1.17	0.96	14,479	15,154	14.9	22.4
6月	1.18	0.94	14,315	15,222	13.4	23.0
7月	1.18	0.94	14,350	15,322	11.9	21.8
8月	1.18	0.95	14,446	15,166	9.4	16.6
9月	1.19	0.98	14,609	14,923	12.7	20.6

（2026年11月5日に取得可能な資料より作成）

（注1）有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

（注2）「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。